



日本国内の震度七の観測事例としては一連の地震活動において、現在の気象庁震度階級が制定されてから初めて震度七が二回観測されました。またM三・五以上の地震回数は、内陸型地震では一九九五年以降で最多となりました。この地震により、熊本を中心とした広い範囲で斜面崩壊、崖崩れなどの土砂災害や河川堤防の被害が発生し、人家屋、公共施設等々に甚大な被害が発生してから、半年が経っています。

消防庁発表によりますと、住宅の全壊が八千棟、半壊が二万八千棟、一部破損が一三万三千

回、六弱の地震が三回発生しました。平成二八年四月一四日から熊本地方を震源とした地震が発生し、最も大きい震度七を観測する地震が四月一四日夜に前震および一六日未明に発生した本震ほか、最大震度六強の地震が二回、六弱の地震が三回発生しました。

日本国内の震度七の観測事例としては一連の地震活動において、現在の気象庁震度階級が制定されてから初めて震度七が二回観測されました。またM三・五以上の地震回数は、内陸型地

熊本で沈下修正工事（矯正工事）始まる

（矯正工事）始まる

本地方を震源とした地震が発生し、最も大きい震度七を観測する地震が四月一四日夜に前震およ

び一六日未明に発生した本震

ほか、最大震度六強の地震が二

回、六弱の地震が三回発生しま

した。

日本国内の震度七の観測事例

としては一連の地震活動におい

て、現在の気象庁震度階級が制

定されてから初めて震度七が二

回観測されました。またM三・

五以上の地震回数は、内陸型地

震では一九九五年以降で最多と

なりました。この地震により、

熊本を中心とした広い範囲で斜

面崩壊、崖崩れなどの土砂災害

や河川堤防の被害が発生し、人

家屋、公共施設等々に甚大な被

害が発生してから、半年が経つ

ています。

消防庁発表によりますと、住

宅の全壊が八千棟、半壊が二万

八千棟、一部破損が一三万三千

回、六弱の地震が三回発生しま

した。

日本国内の震度七の観測事例

としては一連の地震活動におい

て、現在の気象庁震度階級が制

定されてから初めて震度七が二

回観測されました。またM三・

五以上の地震回数は、内陸型地

震では一九九五年以降で最多と

なりました。この地震により、

熊本を中心とした広い範囲で斜

面崩壊、崖崩れなどの土砂災害

や河川堤防の被害が発生し、人

家屋、公共施設等々に甚大な被

害が発生してから、半年が経つ

ています。

消防庁発表によりますと、住

宅の全壊が八千棟、半壊が二万

八千棟、一部破損が一三万三千

回、六弱の地震が三回発生しま

した。

日本国内の震度七の観測事例

としては一連の地震活動におい

て、現在の気象庁震度階級が制

定されてから初めて震度七が二

回観測されました。またM三・

五以上の地震回数は、内陸型地

震では一九九五年以降で最多と

なりました。この地震により、

熊本を中心とした広い範囲で斜

面崩壊、崖崩れなどの土砂災害

や河川堤防の被害が発生し、人

家屋、公共施設等々に甚大な被

害が発生してから、半年が経つ

ています。

消防庁発表によりますと、住

宅の全壊が八千棟、半壊が二万

八千棟、一部破損が一三万三千

回、六弱の地震が三回発生しま

した。

日本国内の震度七の観測事例

としては一連の地震活動におい

て、現在の気象庁震度階級が制

定されてから初めて震度七が二

回観測されました。またM三・

五以上の地震回数は、内陸型地

震では一九九五年以降で最多と

なりました。この地震により、

熊本を中心とした広い範囲で斜

面崩壊、崖崩れなどの土砂災害

や河川堤防の被害が発生し、人

家屋、公共施設等々に甚大な被

害が発生してから、半年が経つ

ています。

消防庁発表によりますと、住

宅の全壊が八千棟、半壊が二万

八千棟、一部破損が一三万三千

回、六弱の地震が三回発生しま

した。

日本国内の震度七の観測事例

としては一連の地震活動におい

て、現在の気象庁震度階級が制

定されてから初めて震度七が二

回観測されました。またM三・

五以上の地震回数は、内陸型地

震では一九九五年以降で最多と

なりました。この地震により、

熊本を中心とした広い範囲で斜

面崩壊、崖崩れなどの土砂災害

や河川堤防の被害が発生し、人

家屋、公共施設等々に甚大な被

害が発生してから、半年が経つ

ています。

消防庁発表によりますと、住

宅の全壊が八千棟、半壊が二万

八千棟、一部破損が一三万三千

回、六弱の地震が三回発生しま

した。

日本国内の震度七の観測事例

としては一連の地震活動におい

て、現在の気象庁震度階級が制

定されてから初めて震度七が二

回観測されました。またM三・

五以上の地震回数は、内陸型地

震では一九九五年以降で最多と

なりました。この地震により、

熊本を中心とした広い範囲で斜

面崩壊、崖崩れなどの土砂災害

や河川堤防の被害が発生し、人

家屋、公共施設等々に甚大な被

害が発生してから、半年が経つ

ています。

消防庁発表によりますと、住

宅の全壊が八千棟、半壊が二万

八千棟、一部破損が一三万三千

回、六弱の地震が三回発生しま

した。

日本国内の震度七の観測事例

としては一連の地震活動におい

て、現在の気象庁震度階級が制

定されてから初めて震度七が二

回観測されました。またM三・

五以上の地震回数は、内陸型地

震では一九九五年以降で最多と

なりました。この地震により、

熊本を中心とした広い範囲で斜

面崩壊、崖崩れなどの土砂災害

や河川堤防の被害が発生し、人

家屋、公共施設等々に甚大な被

害が発生してから、半年が経つ

ています。

消防庁発表によりますと、住

宅の全壊が八千棟、半壊が二万

八千棟、一部破損が一三万三千

回、六弱の地震が三回発生しま

した。

日本国内の震度七の観測事例

としては一連の地震活動におい

て、現在の気象庁震度階級が制

定されてから初めて震度七が二

回観測されました。またM三・

五以上の地震回数は、内陸型地

震では一九九五年以降で最多と

なりました。この地震により、

熊本を中心とした広い範囲で斜

面崩壊、崖崩れなどの土砂災害

や河川堤防の被害が発生し、人

家屋、公共施設等々に甚大な被

害が発生してから、半年が経つ

ています。

消防庁発表によりますと、住

宅の全壊が八千棟、半壊が二万

八千棟、一部破損が一三万三千

回、六弱の地震が三回発生しま

した。

日本国内の震度七の観測事例

としては一連の地震活動におい

工
事
部

静岡支店部署紹介

静岡支店工事部は、五支店の中では最も少ない四人体制となっていますが、國丸工事部長を中心とした日々の業務に取り組んでいます。静岡支店では唯一の若手社員であります中村君も入社から一年半が過ぎ、先輩職員に指導を仰ぎながら奮闘しています。月一回の工事部会では、川邊支店長、営業部員にも出席して頂き、工事工程の調整、今後発注される工事の動向、施工前工事の施工検討会並びに反省会を行い、良質な工事ができる様に部員一同、一致団結して頑張っています。

今後とも皆様からのご支援、ご指導宜しくお願ひします。

いで施工している防潮堤整事があります。既に来年度事の予定も入つていてと聞いています。又、年を追うごと績を伸ばしているTSC工あります。私が担当した昨界遺産登録となつた垂山反それに係わる施設工事および富士山世界遺産センター建事といずれも今期の実績とてています。

備工も工いてに実法が直しを入れた」と。
今まで誰もしなかつること（広辞苑）と
静岡支店の「破天荒」であります。清田九
巻ボルトパネル（R
バルメーカーから
指導を頂き受注でき
ています。

たことをす
く、すぐさま
ることは、
「仄」、法面逆
K B P工法(一
州支店長、
のご支援ご
るよう頑張つ

静岡支店 浜松出張所
所長 佐々木 四子里

りまして発注者の松本市役所様
元請の(株)村瀬組様には多大
ご指導、ご協力を頂き紙面を
りて御礼申し上げます。

今回の工事は、私ども長野
店にとつても久し振りの大中
径の推進工事であり、松本市
での工事も実績が乏しいとい
ふことで、詳細な土質または地
水の状況が掴みきれておらず、
やや手探りの状態でのスター
となりました。

埋設管や架空線あるいは交

借 な い が 図 られ、工 期 も 一 年
る 長 丁 場、地 山 状 況 も 想
る 等、一 筋 繩 で は い か
來 事 も 多 々 あ り ま し た。
見 學 会 を 開 催 さ れ る な ど
側 に お か れ ま し て も 注 目
い 現 場 と あ つ て、無 事 二
を 終 え る 事 が で き た 時 は
し た 事 を 覚 え て い ま す。
私 ど も に と り ま し て は
の 現 場 を 無 事 完 工 さ せ る、
ま た ひ と つ 技 術 の 蓄 積 と
ル に も 繋 が つ た と 思 つ て、

開発部

後とも皆様からのご支援
指導宜しくお願ひします。

營業部

静岡支店 開発部
課長 塩澤 雄二
力を尽くしたいと思います。
期も残すところ三ヶ月となり
目標達成に向かい職員一同

浜松出張所

静岡支店 営業部

現場奮鬥記

「我が太洋もアゲンストの風に
向かって大凧に負けない営業活動
をして受注に向かって天高く
舞う所存であります。」

第五〇回秋季 海釣り大会開催

有難う有難うの連発。
陸に上がつてバーべキュー。

実行委員長
佐々木 四子男

